

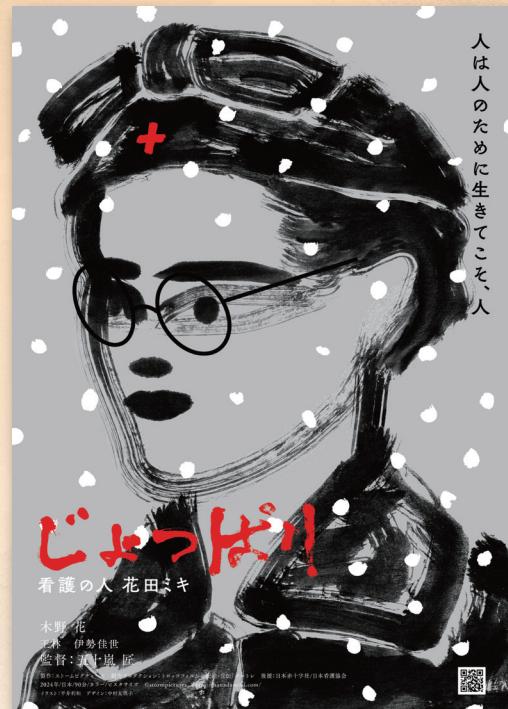


青森中央学院大学

命と暮らしを考える 公開講座

～花田ミキの生涯から命と暮らしを考える～

青森県の保健・看護の礎を築いた郷土の偉人、花田ミキの生涯を描いた映画を通して、人々の命や生活を守り支える保健医療福祉専門職の役割と使命を学びます。そして、映画製作プロデューサーと青森県で活動する保健師との対談から、県民一人一人が健康寿命の延伸に向けて何をすべきかを、ともに考えます。



日 時

令和6年11月9日(土)10:00~12:30

10:00-映画「じょっぱり 看護の人 花田ミキ」上映会

11:40-対談「花田ミキの生涯から命と暮らしを考える」

登壇者:鎌倉幸子(プロデューサー) × 青森県在住保健師

対 象

一般・保健医療関係者・中学生・高校生・大学生

会 場

青森中央学院大学 学術交流会館2階921講義室

〒030-0132 青森市大字横内字神田12

申込方法

いずれかの方法でお申し込みください。

- 申込フォーム(QRコード) <https://forms.office.com/r/YccV5R93wf>
- メール koukaikouza@aomoricgu.ac.jpまで、申込必要事項を送信してください。

申込必要事項

- ①氏名 ②所属(企業、施設、学校等) ③連絡のとれる電話番号 ④メールアドレス



申込フォーム

主催 青森中央学院大学 地域社会活動委員会

共催 青森県保健師自主学習会「Step1」

後援 公益社団法人 青森県看護協会

お問い合わせ先

青森中央学院大学 事務局

研究支援・地域連携課(公開講座担当)

TEL:017-728-0131(代表)

e-mail:koukaikouza@aomoricgu.ac.jp





あたりまえの日常が、
なによりも愛おしい

青森県の伝説の人物、花田ミキ。
看護に命をかけた波乱万丈の生き様を映画化
「保健と看護」に命をささげた生涯を描く！

主演を務めるのは青森県出身で、NHK連続テレビ小説「ブギウギ」での演技が記憶に新しい木野花。また花田ミキと心を通わせるシングルマザー役にお茶の間で大人気の青森県出身タレント王林が扮し、実力派舞台女優として名を馳せる伊勢佳世が、若かりし頃の花田ミキを凜とした演技で見事に演じ切った。

監督を務めたのは、これまで実在の人物を題材に映画製作を続けてきた青森県出身の名匠・五十嵐匠。戦争の悲劇、命を守る保健師の原点、そして「この時代を生きている」とことの意味。人生の喜怒哀楽、あらゆるものが詰まった、観るもの心をわしづかみにする感動作が誕生した。

ただ生きていてくれたらいい。
究極の優しさは相手の命を想い続けること

シングルマザーとして息子リクの子育てに追われる日々をおくっていたちさと（王林）は、仕事先のスーパーの常連である花田ミキ（木野花）と出逢う。人嫌いとして近所でも有名であった花田だが、ちさとやリクとの何気ない日常を過ごすうちに、人のぬくもりに触れ、自然と心を通わせていく。花田は自らがかつて看護師であったことをちさとに告白し、当時の社会情勢や今までどのような生き方をしてきたのかについて静かに語り始める。

花田の若い頃（伊勢佳世）の姿は、八戸赤十字病院で集団感染が起きたボリオの治療法を広め、看護に対して誰よりも懸命に向かい、生き抜いた姿だった。ちさとは、幼い頃に亡くなった自らの母親も看護師であったことから、花田に対して親近感を抱くようになっていったのだが……



協賛: **LINK MORE**
リンクモア・ホールディングスグループ



本公開講座に関するお問い合わせ先

青森中央学院大学
事務局 研究支援・地域連携課（公開講座担当）
TEL:017-728-0131
e-mail:koukaikouza@aomoricgu.ac.jp

青森県保健師自主学習会「Step1」企画

聴かせて 映画の感想／伝えたい 青森県の保健師の歴史

- 公開講座終了後 12:30～13:30頃
- 会場 青森中央学院大学 学術交流会館（公開講座会場）1階ロビー
- 内容 ①映画の感想 みんなのひとこと揭示コーナー
②花田ミキ氏と青森県の保健師活動の歴史展示コーナー
③鑑賞後のゆったり語らいのサロン